

2018年12月19日

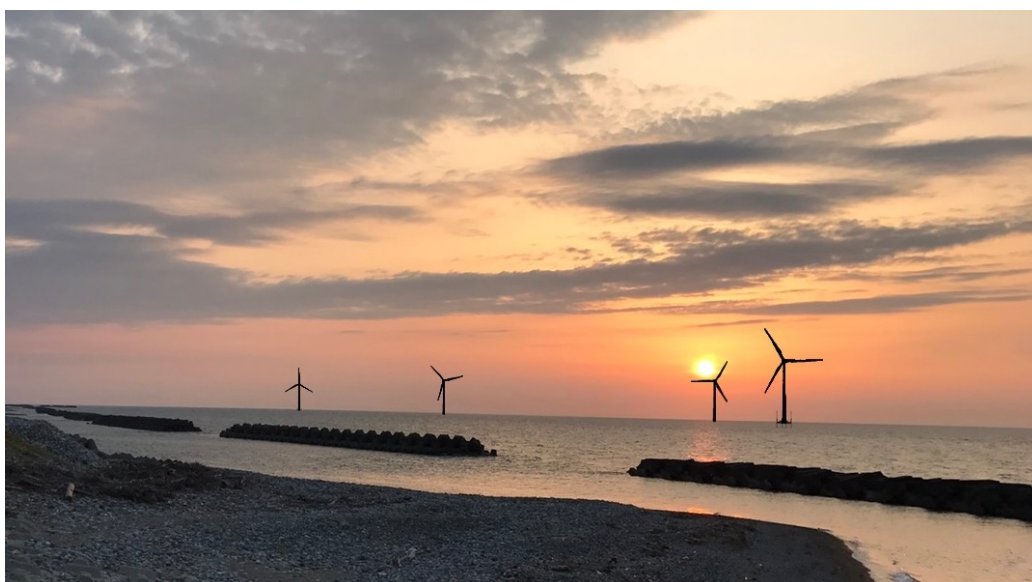
報道機関各位

株式会社ウェンティ・ジャパン 代表取締役 佐藤 裕之

株式会社三井E&Sエンジニアリング 代表取締役 新牧 拓也

富山県下新川郡入善町沖における洋上風力発電事業が本格スタート

～国内初の一般海域における洋上ウインドファーム事業開始のお知らせ～



※イメージ図

株式会社ウェンティ・ジャパン（本社：秋田市、社長：佐藤 裕之、以下「V J」）は、株式会社三井E&Sエンジニアリング（本社：東京都中央区、社長：新牧 拓也、以下「MESE」）と富山県下新川郡入善町（町長：笹島 春人）で進めて参りました入善町洋上風力発電事業計画（以下、「本計画」）を推進することと致しました。なお、両社は本計画のため、入善町内に事業会社を設立する準備を進めています。

本計画は、富山県下新川郡入善町沖に2,000kW級風車を4基設置するもので、発電した電力は全量「再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）」を活用して北陸電力株式会社に売電する計画です（別紙、「1. 本計画概要」ご参照）。

NEWS RELEASE

本計画にあたっては、M E S Eが独自に開発した「小規模着床式洋上風力発電所」の施工方法を採用し、V JとM E S Eが共同で候補地を調査。このほど事前調査において気象、海象等の物理的条件が良好であると判断できるとともに、地元の方々のご理解を得て共存・共栄が可能であるこの地で事業を推進することとしました（別紙、「2. 本計画の特徴」ご参照）。

V Jは風力発電を中心に再生可能エネルギー事業の開発・運営を行うため、羽後設備株式会社、株式会社市民風力発電、株式会社北都銀行をはじめとしたフィデアグループなどが企画・設立した事業会社です。すでに、秋田県内において4箇所8基の風力発電施設の開発に関わり、3箇所27基を建設中または開発中です（2018年12月19日現在）。

V JとM E S Eは今後、洋上ウインドファーム事業の先駆けとなるべく、入善町で風力発電事業を行うなかで、地元漁業との共生を図りながら町の持続的な発展に寄与していく考えです。

以 上

《本件に関する問い合わせ先》

株式会社ウェンティ・ジャパン 管理部 小沼

TEL: 018-827-7435

E-mail: info@venti-japan.jp

《本件に関する問い合わせ先》

株式会社三井E&Sホールディングス

経営企画部 広報室 担当：乾(いぬい)、春日

TEL: 03-3544-3147

1. 本計画概要

(1) 実施事業者	(仮称) 入善町沖洋上風力発電所 ※名称未定 出資者=V J、M E S E (出資比率未定)
(2) 建設予定地	下新川郡入善町沖海域東側
(3) 風力発電機	2,000kW 級風車 4基
(4) 発電容量	7,495 kW
(5) 発電開始	2021年1月(予定)

2. 本計画の特徴

① 地元との協調

持続可能な低炭素社会推進に貢献するだけでなく、洋上風力発電所が地元の観光資源となること、漁礁効果を活用し漁業と共生していくことなど、入善町が今以上に魅力的な町となり発展していくことに貢献してまいります。

② 国内初となる民間資金 100%での洋上風力発電事業

国内初の取り組みとして民間資金 100%での洋上風力発電所を建設、運営いたします。北都銀行を主体とし、地元金融機関の協力を得てプロジェクトファイナンス方式を採用します。

③ 国内初の洋上風車一括架設方式による工程の短縮

フォーク式台船を活用し洋上での作業を極力短期間にし、漁業への影響を抑え、工期の短縮化を目指しています。据付を担うフォーク式台船は、三井E&S造船株式会社が建造した全長148.3メートルの「天佑」で、富山湾に面した新日本海重工業株式会社(社長:釣谷 邦男)で風車が組立てられ、そこから約40キロメートルを海岸沿いに進み現地まで輸送します。

《ご参考》フォーク付き台船による施工法

